



【人生の勝利の方法】

(God teaches us how to win in our life)

説教者: 鄭南哲牧師

-箇所: 出エジプト記17章8-16節/ -暗唱聖句: 伝道者の書4章12節

(Rev. Jung nam-chul)

「モーセが手を上げているときは、イスラエルが優勢になり、手を降ろす、アマレクが優勢になった。(11節)」
 「ひとりなら、打ち負かされても、ふたりなら立ち向かえる。三つ燃(よ)りの糸は簡単には切れない。」

寒暖差が激しい一週間もお元気でしたか。もう教会家族や子どもたちもみんな元気になられ本当に感謝です！2月中にも寒い日が多くなりそうです。最近、保育園や学校内でインフルA,B型や胃腸炎など色々な感染症が流行っているの、2月中にもお体を大事にして下さい。新しい2月が始まりました！今日から新しく始まった2月中にも神の御手がいつもみなさんの尊い人生の上にとともにあり、主がみなさんを守り、助け、恵ませ、大いに祝福して下さいますようにお祈り申し上げます！アーメン！！

2月中にも目に見えないウイルスと病気との戦いが続き、人間関係の戦い、仕事との戦い、自分との戦いなどなど、恐れと不安、寂しさとの戦いも、経済的な戦いの中にもいるかも知れません。

どうか願わくは、全能なる神の御力がみなさんの上に覆われて、今月、今年にも様々な戦いの中にあっても大きな勝利を2月、今年一年となりますように切にお祈り申し上げます！

今日の聖書の本文はアマレクとの戦いについて扱っています。出エジプト後、イスラエルの民たちの荒野の生活を一言で言うと、戦いの連続の現場だと言えます。一つの試練や戦いを乗り越えると、また違った試練が現れ、彼らの行進をさまたげてやってきました。イスラエルの民は、食べ物なくなったり、マラでまた、シンの荒野で水がなくなると、ふたたび神様につぶやきます。何日か前、マラで飲めないが水、飲めるあまい水に変えてくださった神様の奇跡をモーセを通して経験したばかりだったのにも関わらず、彼らはまたすっかり、忘れてしまいました。イスラエル人の荒野の生活は荒野の戦いの連続の中で、うらみとつぶやきの連続の歴史だったとも言えます。今年一年、みなさんはどうなりそうでしょうか。

もしかして、われらの中にも荒野でのイスラエルの民たちのように、許された自分の人生の歩みの感謝よりも、つぶやきの連続の生活を送って来た歩みではありませんか。しかし、みなさん、荒野でのあらゆる苦難と戦いには神様の御心が秘められています。あの恐ろしい荒野での様々な苦難と戦いを通して、人間によって作り上げられて来たあのエジプトで慣れてしまった階級意識、人間の権力を神のように崇拜する姿勢、お金を絶対的な存在として拝んでいた拝金主義、マンモン主義、人本主義(じんぼんしゅぎ)の生き方と価値観から、神様への絶対信頼と信仰、人中心から、神中心とする神本主義、神の信じる信仰による生き方に変えられて行くための訓練の場であり、神の民らしくジュ分に整えられ、成熟される場所が荒野でした！

今日の本文である出エジプト17章8-16節ではイスラエル人たちが荒野で違った種類の試練と戦いに会われます。思わぬアマレク族との戦争を迎えての話です。ところが、イスラエル人が神様や、モーセにつぶやいたという記録がないのは初めてです。いつの間にか、苦難と戦いをとおして、ますますイスラエル人の信仰が強められ、成熟していくことが見られます。それをみると、人生の苦難と戦いはたしかに、すべてマイナスではありませんね。様々な苦難と戦いを歓迎し、喜び人はだれもないと思いますが、それを許して下さった生きておられる神様が必ず我々に益となるように導いてくださる真実を信じる事が出来ますようには祈ります！

今日アマレクとの戦いは単なる数千年前の当時のイスラエルとイスラエルの敵軍との戦争話ではありません。聖書に荒野でのこの出来事が詳しく、神が具体的に記録させたのは、今日も神を信じて人生の荒野を歩み続けている我々においてもとても大切な勝利の原則を教えて下さる内容です。

続けている人生のさまざまな戦いにおいて神の民たちがどうすれば打ち勝つことができるかその方法を教えてください本文なのです。人間にとって食べ物や飲むものが解決されたとはいえ、それですべてが満たされたとは言えません。人生の中で、我々は熾烈な戦い、自分との絶え間ない戦いがあります。今日の御言葉を通してみなさん一人一人が今年2023年中にもみなさんにも襲って来る様々な熾烈な戦いの中で最終的な勝利者となりますように切にお祈り申し上げます。

1.戦いの対象(who is our enemy?)

はじめに、この戦いは誰に対象にした戦いでしたか。アマレクとの戦いでした。アマレクはだれですか。

創世記36章12節を読めば、このアマレクの正体が分かります。

「ティムナはエサウの子エリファズの側女(そばめ)で、エリファズにアマレクを産んだ。これらはエサウの妻アダの子である。」

(Esau's son Eliphaz also had a concubine named Timna, who bore him Amalek. These were grandsons of Esau's wife Adah.)つまり、アマレクはエサウの血筋(ちすじ)であり、エサウの孫でした。ただの血筋ではなく、アマレクは、エサウの生き方と態度をそのまま、継承(けいしょう)されました者とその部族となります。

申命記25章17-18節の御言葉によるとアマレクがどのような生き方をしたかが分かります。

「覚えていなさい。あなたがたがエジプトから出たとき、その道中で、アマレクがあなたにしたことを。彼らは神を恐れることなく、あなたが疲れて弱っているときに、道であなたに会い、あなたのうしろの落後者をすべて切り倒したのである。」

(Remember what the Amalekites did to you along the way when you came out of Egypt. When you were weary and worn out, they met you on your Journey and cut off all who were lagging behind; they had no fear of God.)

アマレクは神様を恐れなかった！という事実だけを聖書は強調しています。アマレクは消極的には神様を恐れなかったのみならず、積極的に神様に対敵する者でした。そして、神様の民を苦しめ、対敵する勢力になります。そして、聖書はこのアマレク族が神様の民を脅かす悪しき者の霊的勢力のシンバルとして記録されています。

(愛する家族、教会の家族がわれらの敵では決してない！ことを忘れないで下さい。サタンに絶えず、みなさんをだまし、みなさんの人生を打ち壊し、愛するべき家族を分裂させ、キリストの体なる一つの教会の家族共同体を分裂させようとするため、いつもだまされないように気をつけましょう。よく霊的に見極め、正しい神の分別力、識別力をしっかり握って歩む一年となりますように！)

2. アマレクが攻撃するタイミング(The time of Amalekite army' attacking)

それではみなさん!すると、アマレクはいつ攻めて来ましたか。その時を我々は注目しなければなりません。出エジプト17章1-7節の御言葉によると、イスラエルの民がレフィディム(メリバ)という所に着いた時、飲む水がないとモーセと争い、つぶやいていました。もちろん、神様はイスラエルの民の弱さにもかかわらず、岩から水が湧き出るように助けて飲ませて下さいました。その神の恵みと奇跡的な神の力を体験して水を十分に飲んだ後、アマレクが攻め来たのです。

ここで我々は二つの大切な真理を覚えなければなりません。我々が神様の恵みを受けた時、神様からの祝福を受けたとき、それをねたみ、嫉妬するものがあります。だれでしょうか。サタンと悪しきのもろどもです。ですから、我々が恵みを受け、神様の祝福にあずけられている時、勇断しやすい時に、その恵み中に続けていられないように、試練と試みがやってくる時もあります。つまり、サタンの攻撃がやってくることを覚え、我々はいつもこれに対して備えていなければなりません。“立っている者は倒れるか気をつけなさい。”という御言葉を覚えましょう。

しかし、イスラエル人たちが渴いた水を十分に飲み、戦う準備ができた時でした。もし、水を飲まず、渴いている状態でアマレクに攻撃されたなら、それは戦う気力すらなく、負ける可能性がさらに高かったかも知れません。しかし、神様は岩から湧き出る水を乾いている民に飲ませて、新しい力を得た状態の中アマレクの攻撃を整えさせて下さるお方であることが分かります。

3. アマレクの攻めて来るターゲット(A target of Amalekite army' attacking)

このアマレクとその勢力が誰を攻撃しましたか。今日の本文にはアマレクがイスラエル人に攻めて来たことだけが記録されていますが、申命記25章18節をみると、もっと具体的に誰をターゲットにして攻めてくるのかがわかります。

「彼らは神を恐れることなく、あなたが疲れて弱っているときに、道であなたに会い、あなたのうしろの落後者をすべて切り倒したのである。」(When you were weary and worn out, they met you on your Journey and cut off all who we re lagging behind;they had no fear of God)

だれを攻撃したと記録されていますか。アマレクは正面衝突を企(くわだ)てたのではなく、うしろの落後者たちをみな、切り倒した記されています。彼らはどうして群れから離れて後ろについて来たのでしょうか。疲れていたからです！そんな彼らがアマレクの攻撃のターゲットになったのです。私はこれが霊的戦いの他の面を表わして下さると思います。サタンや悪しき者たちがだれをよく攻撃すると思いますか。

みなさん、サタンが一番攻撃しやすい対象はだれだと思いますか。群れから離れてしまい、一人になっているうちに、その隙間が出来ているところに、攻めてくるのが分かります。

ペテロが大きな失敗を招いてしまい、試みに陥ってしまった時もそのような場合でした。

マルコの福音書14章54節をみてみてください。

「ペテロは、遠くからイエスの後について、大祭司の庭の中にまで入って行った。そして、下役(したやく)たちと一緒に座って、火に当たっていた。」(Peter followed him at a distance, right into the courtyard of the high priest. There he sat with the guards and warmed himself at the fire.)

これがペテロの試みに入るドラマの始まりです。だれより先頭に立って、だれより熱心にキリストについていたペテロはいつの間にか、遠くからイエスの後をついているうちに、試みに陥ってしまいました。サタンは色々な弱いところに攻撃して来ます。

我々がイエスキリストの弟子として主に従う時、どんな態度と姿勢をとるかはとっても大切です。

エペソ人への手紙6章を読んでみると、霊的戦いへの描写(びょうしゃ)に我々の戦いは血肉に対するものではなく、なにとの戦いだと書かれていますか。天にいるもろもろの悪霊どもの戦いです。

使徒パウロはこの戦いを描写しながら、我々が持つべきことは何だと強調していますか。

「終わりに言います。主にあって、その大能(たいのう)の力によって強められなさい。(エペソ人への手紙6章10節)」(Finally, be strong in the Lord and in his mighty power.)

いつも自分の力ではなく、主が与えてくださる力によって、聖霊の力によって強められれば、悪霊がわれらの弱さ、すきまにすぐ入り、攻めて来るということです。始まった2023年に自分自身が、我々の家庭がサタンの攻撃対象にならないように気をつけましょう。今年中にもイエス様の後を遠くからついていかにないように気をつけましょう。いつも主のもとに近くにいて、すぐ主についていくようにしましょう。結局、今年中にも神様と我らがどのような関係となるかが勝負の鍵であると信じます。

われらとともにおられるインマヌエルの主イエスキリストに根ざし、キリストと歩調を合わせ、ともに日々歩む私とみなさんとなりますように切にお祈り申し上げます！

4. 戦いの方法(The methods of spiritual battle for victory)

今日の聖書本文でイスラエルの民はどうやってアマレクと戦っていますか。本文の9節をみてみましょう。

「モーセはヨシュアに言った。「私たちのために幾人かを選び、出て行ってアマレクと戦いなさい。私は明日、神の杖を手に持って、丘の頂に立ちます。」(Moses said to Joshua, [Choose some of our men and go out to fight the Amalekites. Tomorrow I will stand on top of the hill with the staff of God in my hands])

モーセはヨシュアを選んで、彼によって人々を集め、戦うようにと指示しました。そして、モーセは丘の頂(いただき)に上り、杖を高く

あげて祈ると言います。直接戦うヨシュアの部隊チームと丘のいただきで杖を持っている祈るチームに分けたのです。杖を持っているチームはつまり、祈る部隊チームでした！実際に戦うチームと祈るチームを二つに分けたのです。

みなさん!この二つの部隊の中、どちらがもっと大切だと思いますか。もちろん、両方とも大切でしょう!

神様の働きには様々な分野があります。大切でない分野は一つありません。みなさんが見ると、いつも講壇でメッセージする牧師が一番大切だと思われるかも知れません。しかし、ここに立っているわたくしが神様の御言葉を宣布し、語ることは見えないすみずみで助け、働き、奉仕をして下さっているたくさんの方々がいるからです!

家の教会で仕えて下さる牧場の牧者たち、礼拝の時、前で奉仕されている方々だけではなく、賛美、奏楽の方々も、毎週教会の受付の奉仕者たち、礼拝の準備のために前日の掃除をしてくださる方々、講壇でのお花を飾って下さる方、車で送迎をして下さる方々、遠く住んでいる方々、子どもたちの為に奉仕をして下さるアワナの先生たち、いつも厳しい教会の会計のために仕えてくださる方々など、一人一人がどれだけ尊いかわかりません。そういうわけで、わたくしが御言葉を伝えることができるのです。

愛するクリスチャンプレイズの信仰の家族のみなさん!覚えましょう!

神様の働きはヨシュアの戦う部隊チームとモーセの祈る部隊チームとともにする協力しなければなりません。

その意味で、チームワークです。チームの働きです。大切でないことはなに一つありません。

神様にとってみんながなくてはならない大切な存在なのです!

ところが、その中でも特に今日の聖書の本文で強調する大切な働きは祈りの働きです。

実際に戦うヨシュアとイスラエル人たちよりこの戦いで勝利をおさめる決定的な役割を占めたのはモーセのとりなしのチームであることを聖書は大切に強調しています。

ここで、モーセのとりなしの祈る姿に注目して見る必要があります!

モーセは山の頂で杖を持って立って手を高くあげてました!それは「神に手を上げること」は、祈りのシンバルであり、象徴です!

旧約でもそうだったし、新約でもそうでした。旧約聖書詩篇28篇2節を読んで見ましょう。

「私の願いの声を聞いてください。私があなたに助けを呼び求めるとき、私の手をあなたの聖所の奥に向けて上げるとき。」

(Hear my cry for mercy as I call to you for help, as I lift up my hands toward your Most Holy Place)

新約聖書でもこのような祈りの形、祈りの象徴性は続きます。とりなしの大切さを教えるテモテへの手紙第一2章8節では、

「そういうわけで、私はこう願っています。男たちは怒ったり言い争ったりせずに、どこでも、きよい手を上げて祈りなさい。」

(I want men everywhere to lift up holy hands in prayer, without anger or disputing.)

男は怒ったり言い争うことなく、何をするようにと言われましたか。きよい手をあげて祈るようにしなさい!と言われました。

実際に手を上げて祈るかか、上げないかの事実ではなく、祈る自体がもっと大切です。

モーセは手だけあげるのではなく、同時に杖をあげました。なぜ、杖を持ったのでしょうか。その杖は何をしていた杖でしたか。神様の力を表わすものとして用いられたものが杖でした。これは単純に祈りだけを強調するのではなく、祈りの力、祈りのパワーを強調しています。ですから、アマレクとのこの戦いは単純に戦闘部隊が一生懸命に戦って勝った戦いではなく、祈りの力によって勝った戦いなのです。つまり、祈りの力を強調する勝利だったことが分かります。

なぜでしょうか。祈ることは、自分の代わりに、神を代わりに立たせ、神の御手を動かすことだからです!

祈ることは自身の力ではなく、神の御力に頼ることだからです!

それもモーセが一人で祈ったことでしょうか。いいえ!モーセが杖を持って祈りながら、疲れて祈りの手が下がってくると、下がらないように、だれが支えてくれましたか。はい。アロンとフルと一緒にそばにいて、モーセの祈りの手を支えてくれました。

愛する信仰の家族のみなさん!これは何を意味するでしょうか。祈ることもともにする必要がある意味です。

もちろん、一人でも祈れます!しかし、一人で祈るとしばらくは熱心にしながらも、すぐ疲れてしまうでしょう。もし、昨年みなさんが継続に祈り続ける生活が出来なかったならば、何よりもみなさんとともに祈る人たちが皆さんにいなかったからではないでしょうか。祈り続けるために、祈りを持続(じぞく)するために、一緒に祈る人々が必ず必要です。祈りのグループがあれば、祈り続ける力で支えられます!困った時、なやみがあるとき、いつもちかくで集まって祈り合う祈りのチームを作っておくことが、勝利しつつける一年となるために、最も大切なことであることが分かります!

*伝道者の書4章12節「ひとりなら、打ち負かされても、ふたりなら立ち向かえる。三つ燃(よ)りの糸は簡単には切れない。」

(Though one may be overpowered, two can defend themselves. A cord of three strands is not quickly broken.)

*マタイの福音書18章20節「ふたりか三人がわたしの名において集るところには、わたしもその中にいるのです。」

(For where two, or three come together in my name, there am I with them.)

実は、すでに我らの教会にある家の教会、牧場は、ともに祈り合い、執り成し合える祈りのパートナーであり、祈るグループなのです!それだけではなく、朝早天から祈り、水曜日忙しい時間をさいて教会にまで来て共に集まって、自分だけではなく、教会のみなさんと牧場の家族のために祈っている方々がいたからこそ、神の御国の働き、主の教会の働きが、昨年一年間も守られ、支えられて来た信じます。その時間がどれだけ大切なのかわかりません。

それに、またみなさん!アロンとフルとモーセとの関係はどんな関係でしたか。

はい、家族関係でした。アロンはモーセの兄で、フル(フルの子ウリの子ベシアルエルが生まれる(出エジプト31:2))はカレブの息子(歴代誌第一2章19節)であってモーセのお姉さんミリアムのご主人でした。つまり、家族間のチームワークでした。みなさん!

一番よい祈りのチームワークは家族です!みなさんの家族と一緒に出来なければ、同時に家族のように祈る合う関係を作ること

が大切です！

今年、みなさんの家庭で家族が、夫婦で、親子でともに祈りあう、その祈りの関係が回復されるように、作られるようにお祈りします。家族や一人で住んでいる方はかならず、何でも正直に分かち合い、祈り合える祈りのパートナーを作ってください。願わくは、今年各家の教会牧場がそのような祈る家族関係までちゃんとなりますように！また牧場を超えて教会家族の中でも是非作りましょう。

<三つ燃(よ)りの糸の祈りの家族(チーム)の選択方法(Let's make a Partner & Team of Prayer for God's Victory)>

①祈りのパートナーとグループになりましょう

だれかによって無理やり、強制的に決められるのではなく、自分で探し、決めて下さい。探す時に、大切なのは、自分の為によく祈ってくれる人より、自分をもっと祈ってあげたい人の方に行ってパートナーとなってあげて下さい。そして、なるべく家族やいつも仲良しの人、異性は避けて下さい。

②祈り課題を分かち合う

お互いに祈り課題を分かち合う時に抽象的ではなく、具体的な祈り課題として分かち合ってください。そして、祈りが答えられたら、必ず伝えて下さい。

****「共に(祈りの)手を上げている時は、優勢になり、共に(祈りの)手を降ろしているときは、敗北となる！！」**

(祈ることは:余裕のある趣味活動じゃない。人生の勝敗、勝つか、負けるかのカギである！勝利するか、完敗するかのカギとなります！)

5.戦いの結果(the result of spiritual battle) :いつまで祈るべきか、勝利するまで、答えられる時まで、とことんまで祈り続けれる！

最後にこの戦いの結果はどうなりましたか。当然、とりなしの偉大な力によって彼らは勝利をおさめることができました。

出エジプト記17章15節-16節です。

「モーセは祭壇を築き、それをアドナイ・ニシと呼び、16そして言った。「主の御座の上にある手。主は代々にわたりアマレクと戦われる。」(Moses built an altar and called it The LORD is my Banner.16He said,“For hands were lifted up to the throne of the LORD The LORD will be at war against the Amalekites from generation to generation.”)

この戦いで勝利した後、モーセは記念の祭壇を築きました。そしてその祭壇の名前を“アドナイ・ニシ”だと言いました。

“ニシ”とは‘旗’という意味です。ですから「アドナイ・ニシ」という意味は‘神様は私の旗’つまり、ここで旗は勝利を象徴する旗です。

これをまとめてみると、「神様は私の勝利の旗であられる」という意味です。

ヨシュアが実際に戦いに出て、モーセは山の頂から応援を送りましたが、究極的にこの戦いはだれによる勝利でしたか。

そうです。神様による勝利でした。神様が我々の人生の勝利の旗となられます。神様による勝利でした。祈ったということは、彼らが神様の力に頼ったということです。祈る者は、神様に助けられ、守られ、打ち勝つ神の力によって戦うことになるため、まさしく、神様による勝利を経験することが出来るのです。

愛するみなさん！メッセージを終わらせます。今日、荒野であった神様の民とアマレクとの戦いのような戦いはこんにちも続くことを教えて下さっています。「主は代々にわたってアマレクと戦われる！」(The LORD will be at war against the Amalekites from generation to generation)

我々の神様は一回だけの勝利ではなく、これからも持続的な神様の勝利を我らに約束されています。

アマレクの霊を継承した、我らを分かたせ、分裂させ、倒そうとするサタンの霊的な攻撃、闇の攻撃と誘惑、戦いは今年も、今も私たちにまで脅かして来るでしょう。

しかし、みなさん！2月中にもそのような闇の攻撃を決して恐れなくて下さい。神様に一人ではなく、ともに祈りの手を上げ、心から頼り、委ね求める我々のかわりに必ず、戦ってくださいますから！**2024年中にもあらゆる戦いの勝敗は、自分の力でも、他の人でも、環境でもなく、全て神様の御手にかかっているのを忘れないで下さい。**ご一緒に神の前で謙遜に神様にたより、ひざをまずいて祈る者に与えて下さる神様の偉大な勝利が今週から始まる2月、また2024年中ずっとみなさんの人生の上に、ご家族の上に豊かにありますように主イエスキリストの御名によってお祈り申し上げます！アーメン！